














北区は、令和3年度から、『1人1台端末』の環境による教育が実践できるよう、取り組んでいます。今回は、GIGAスクール構想実現に向けた検討組織における検討の様子をご紹介します。












★区と学校が力をあわせ、詳細な検討を進める！

| | |
|---|---|
|  | 『GIGA スクール構想』の実現に向けて、区と学校が一体となり検討を進めていると聞いたけど、どんなふうに、話し合いを進めているの？ |
|  | GIGA スクール構想を各校が取り組む前に、決めなければならぬことが、たくさんあります。そこで、「GIGA スクール構想推進プロジェクトチーム」と、「GIGA スクール構想運用検討委員会」という二つの会議体を設置し、検討を進めています。 |
|  | それぞれ、どういうメンバーが集まって、話し合っているの？ |
|  | 「プロジェクトチーム」は、北区教育研究会で ICT 教育を担当する校長先生 4 名と園長先生 1 名、さらに区の GIGA スクール構想に関わる職員をあわせた計 13 名。「運用検討委員会」は、校長会に相談して選ばれた未来志向に溢れる先生 8 名と区の職員あわせて計 11 名。このメンバーは、校長先生、副校長先生に加えて、教科等の指導や研究で活躍している主幹教諭・主任教諭の先生が参加しています。 |
|  | ふ～ん、たくさん学校の先生が加わっているんだ。そうか、学校で、「1人1台端末」を効果的に活用するためには、最大限に学校の意見を取り入れる必要があるってことだね。 |



★『GIGA スクール構想』の大きな方向性を決める「プロジェクトチーム」

| | |
|---|---|
|  | 二つの会議の構成メンバーは分かったけど、まず、プロジェクトチームでは、どんな内容について、話し合っているの？ |
|  | プロジェクトチームは、『GIGA スクール構想』を推進するために必要な「基本的方針の整理」を行うことになっています。「1人1台端末」時代を迎え、どのような将来像を描きながら、教育を進めていくべきか、「基本的な考え方」について、議論をしているところです。 |
|  | 具体的な検討は、これからだと思うけど、「基本的な考え方」について教えて。どのようなステップで北区の GIGA スクールを展開させていくのか、現時点でイメージはあるの？ |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ○ ICT 導入の機運を醸成すること。 ○ 授業における ICT の活用を加速させ、教育の質の改善させること。 ○ 教員の負担軽減を図り子どもたちと向き合う時間の確保をすること。 このようなステップで、展開していくことが欠かせないと思っています。 |
|  | ふ～ん。そのうえで、具体的にどのような教育を進めていくの？ |
|  | 高度情報化社会という次世代にふさわしい人材育成を目指した教育を展開していきます。日常的・主体的に ICT を使いこなす「情報活用能力」の育成や、Society5.0 という「未来社会」を生き抜くための資質と確かな学力の習得を目指します。 |
|  | なるほど、ビジョンとも言うべき大きな方向性を決めるために議論していくのね。プロジェクトチームでは、ほかに何を決めていくの？ |
|  | 安全で安心して利用できる環境の構築が、必要不可欠です。『GIGA スクール構想』では、国が推奨する「クラウド」活用により、インターネット上でデータをやり取りします。情報資産を保護するため、新たなセキュリティポリシーの策定に向けて、検討を進めています。 |

◎「1人1台端末」の効果的な活用に向けた方針を決める「運用検討委員会」

| | |
|---|--|
|  | プロジェクトチームのことは分かったけど、もう一つの運用検討委員会についても、教えて。 |
|  | 運用検討委員会では、運用面の実務的内容について、検討しています。『GIGA スクール構想』を進めるために必要となる機器やソフトウェア、授業や家庭における端末の活用、学校や家庭における端末の運用ルールなどを話し合っています。 |
|  | ソフトウェアの導入は、どんな検討を進めているの？ |
|  | まず、ベースとなる基幹ソフトウェアは、クラウド型ソフトウェアサービス、「G suite for Education（ジースイート フォア エデュケーション）」の導入を検討しています。「G suite for Education」は、ファイルの保存や同時編集、スケジュール管理、アンケート機能、Web 会議など、GIGA スクール推進のため必要な機能を備えています。 |
|  | そのほかにも、導入を検討しているソフトウェアはあるの？ |
|  | 「1人1台端末」の環境のもと、充実した授業を実践するために、協働学習、個別学習、図鑑・辞典、問題集、プログラミング教育、プレゼンテーションなど、必要なソフトウェアについて運用検討委員会のメンバーの先生に、意見を聴いています。 |
|  | 学校の授業は、ずいぶん変わっていく感じがするけど、家庭では、どんなことが便利になるの？ |
|  | 学校から家庭への配布物のデジタル化も委員会で検討しています。これまでは、学校が通知を印刷し、子どもに配布しても、ランドセルの底で丸まって家庭に届かないこともありました。デジタル化すれば、印刷や配布の手間はなく、紙資源も節約できます。保護者は迅速に情報を受け取れます。 |
|  | たびたび学校からくる、アンケート調査も、デジタル化できると便利になりそうだけど……。 |
|  | 紙によるアンケートの配布・回収は、教員が印刷→子どもへ配布→子どもが自宅に持ち帰り→保護者が記入・押印・切り取り→子どもが教員に提出→教員が子どもから回収・催促→教員が結果を手集計・手入力という流れでした。デジタル化すれば、未回答の家庭への催促以外は、自動化でき、結果の転記ミスも防げます。アンケートがランドセルの底で眠ることもありません。 |
|  | デジタル化できれば、学校は、印刷や配布業務が軽減する。保護者はスマホやパソコンでいつでもどこでも閲覧できる。実現すれば、お互いにとって、ずいぶん便利になると思います。 |

◎全教員＆保護者を対象にアンケート実施中～12月7日まで

| | |
|---|--|
|  | いろいろな検討にあたって、学校代表の先生の意見を聴くことは分かったけど、そのほかの先生や、保護者の意見・要望はどう把握するの？ |
|  | 学校配信メールを活用して、区立小中学校の全教員と保護者を対象に、要望や期待、不安な点を教えてもらうためのアンケートを実施しています。「すべての児童・生徒と教員に寄り添う北区の GIGA スクール構想」実現のため、ぜひ協力をお願いします。 |

北区教育委員会



City of Kita

〒114-8546 東京都北区滝野川 2-52-10

北区役所滝野川分庁舎 2階 11 番

東京都北区教育委員会事務局

【構想全般に関すること】

教育政策課

TEL:3908-9279

【端末機器に関すること】

学校支援課 学校支援係

TEL:3908-9293

【学習全般に関すること】

教育指導課 指導係

TEL:3908-9287